

趣味のひとつき オールディーズ

第6巻 キラリと光る一発屋

お笑い芸人にも一発屋がありますが、今回はオールディーズの一発屋(One Hit Wonder)を見ていきましょう。ヒットチャート・ランキングは全米ヒットチャート「ビルボード誌」を参考にしています。

◆1960年代

- 1962年 ケニー・ボール&ジャズメンの「モスコーの夜はふけて」(2位)、トルネードスの「テルスター」(1位)とインストゥルメンタル曲がヒットしました。
- 1963年 一発屋の曲が多く、カスケーズの「悲しき雨音」(3位)、ロルフ・ハリスの「悲しきカンガルー」(3位)と“悲しき”シリーズがあり、ヴィレッジ・ストンパーズの「ワシントン広場の夜はふけて」(2位)や翌年のアル・ハートの「ジャワの夜はふけて」と“夜はふけて”シリーズもありました。日本でペギー葉山(昭和8年生)が歌ってヒットした、歌う尼さんシンギング・ナン(=スール・スーリール)の「ドミニク」(1位)やガス・バックス(1937年生)の「恋はスバヤク」も流行りました。忘れてならないのが、トロイ・ドナヒュー(1936年生)の「恋のパームスプリングス」です。金髪で碧眼、端正な顔立ちと筋肉質の長身、世界中の女性を虜にしたばかりか、あのスザンヌ・ブレッシエット(1937年年生～2008年没)と結婚したので世界中の男性を敵に回しました(笑)。
- 1967年 ミリアム・マケバ(1932年生)の「パタパタ」や女優のルル(1948年生)が、自身が出演した映画の主題歌「いつも心に太陽を **To Sir with Love**」を歌って第1位になりました。この曲は年間ランキングでも第1位になり、当時はロックミュージック全盛期で映画の主題歌が1位になるのは珍しいことでした。ルルは一時期ビージーズのモーリス・ギブ(1949年生～2003年没)と結婚していましたね。ハモンドオルガンの荘重なイントロで始まるプロコムハルムの「青い影 **A Whiter Shade of Pale**」もこの年のヒット曲です。シーカーズの「ジョージ・ガール」(2位)はイギリスの同名の映画主題歌でした。
- 1968年 バブルガム・ミュージックと言われた 1910 フルーツガム・カンパニーの「サイモン・セツ」が4位になりました。デイヴ・ディ・グループの「キサナドゥーの伝説」は日本でジャガースがコピーしました。鞭がしなる“ピュ

ン、ピュン”と言う音が効果的に入れてあり、砂漠を旅して桃源郷を目指すキャラバンの風景が目には浮かびます。

- 1969 年 ゼーガー&エヴァンスの「西暦 2525 年」が第 1 位になり、他にもブーツウオーカーの「ジェラルデン」やスパイラル・ステアケースの「モア・トゥデイ・ザン・イエスタデイ」が流行りました。ニール・ダイヤモンドの「スイート・キャロライン」(4 位)は現駐日アメリカ大使、キャロライン・ケネディを歌った曲として有名ですね。

◆1970 年代

- 1970 年 オランダ出身のショッキング・ブルーが「ヴィーナス」を第 1 位にしました。エジソン・ライトハウスの「恋のほのお Love Grows」、ホワイト・プレインズの「恋に恋して My Baby Loves Lovin'」などありましたが、思い出すのはマッシュマッカーンの「霧の中の二人」です。“As The Years Go By “が英文のタイトルで歌詞にも「霧」に関わる言葉はないのですが、全編に流れるエレクトーンの「もやっと」した伴奏が「霧の中」を思わせるので、題名にしたのかも知れません。
- 1971 年 リン・アンダーソン(1947 年生)の「ローズ・ガーデン」が 3 位になりました。ブラッド、スエット&ティアーズ、シカゴと並んでブラスロックと言われたチェイスの「黒い炎 Get It On」は 4 本のトランペットが次々と音を重ねて、まるで音を追跡(チェイス)しているみたいでしたね。
- 1972 年 ヤードバーズ、クリーム、ブラインド・フェイスの次にエリック・クラプトンが作ったバンド、デレク&ドミノスの「いとしのレイラ」が 10 位になりました。この曲はエリック・クラプトン(1945 年生)の最高傑作だと言う人もいます。親友のジョージ・ハリスン(1943 年生~2001 年没)の妻モデルのパティ・ボイド(1944 年生)に道ならぬ恋をし、その気持ちを歌った曲で、何と 1979 年には離婚したパティ・ボイドと結婚しているのです。世の中こんなロマンチックな事があるんですね。ダニエル・ブーン(1942 年生)の「ビューティフル・サンデー」は日本でも田中星児(1947 年生)のカバーで大ヒットしました。
- 1973 年 トニー・オーランド&ドーンの「幸せの黄色いリボン」が軽快なテンポと刑期を終えて帰宅する男の気持ちを歌った歌詞が人々の心を打ち第 1 位になりました。この曲に感銘を受けた山田洋次監督が高倉健主演の映画「幸福の黄色いハンカチ」(昭和 52 年)を作ったと言われています。ドーンは他に、「ノックは 3 回」を第 1 位にしているので、一発屋とはいえませんね。

いかがでしたか。記憶に残る一発屋が登場したでしょうか。次回は「日本のフ

オークソングとグループサウンズ」を特集します。

＜ソノシート＞

中学生の頃レコードは高く、安価な「ソノシート」を買ったものです。ソノシートは薄いプラスチックシートですが、ペラペラで曲げても折れずレコードと同じ円盤ですが、裏はツルツルで溝がなく、表にだけ溝がありました。レコードと間違えないよう色は黒でなく赤か青でした。少年雑誌の裏表紙に当時流行っていた曲（今のオールディーズ）がソノシートで通信販売されていて申し込みました。届いたのでプレーヤーに乗せ、聴いてみるとガッカリ。「ダイアナ」はポール・アンカが歌っているのではなく、聞いたこともない日本人歌手が歌っているのです。他の曲も同じでした。“こりゃ、騙された…”と思いながら、それでも「流行り歌」を聴きたくて、その後何枚もソノシートを買ってしまいました。